Shareholder's Memo

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 TEL:0120-094-777（通話料無料）
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第二部

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月（シヅキ）』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。

株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867　兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821　FAX:0798-73-0807
URL　www.shizuki.co.jp

VEGETABLE OIL INK

株主通信

第88期　報告書
2015年4月1日～2016年3月31日

メッセージ

岡山指月に、新工場を建設。自動車用コンデンサのグローバル市場に挑んでいく。

特集：シヅキのツヅキ

電力ネットワーク

シヅキ

証券コード 6994／東証二部

株式会社 指月電機製作所

Business Field
事業領域

AIM2018事業領域の11ドメイン

事業セグメント
●コンデンサ・モジュール ●電力機器システム
●情報機器システム

電気をマネジメントするさまざまな商品を開発・生産して、お客様に提供し、社会に貢献する。

指月総合マネジメントシステム
ʃIΣS（シムス）

社員一人ひとりが「品質・コスト・納期」という経済的視点や、「再利用・負荷の減少・エネルギーの再生」という環境的視点を持ち、業務に取り組む。

今回の主なトピックス

岡山指月に新工場（第3工場）建設

自動車用コンデンサの生産増強に向けて新工場を建設。次世代エコカーの需要拡大に応え、普及を支えていきます。

上海指月 創立10周年

中国上海市の販売子会社「指月獅子起（上海）貿易有限公司」（上海指月）が、2016年5月、創立10周年を迎えました。

→ 詳しくはP7-P8をご覧ください

To Our Shareholders
株主の皆様へ

外的変化に左右されない、柔軟かつ堅牢な組織づくりを。

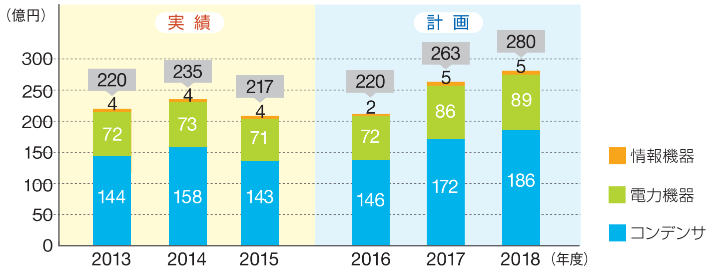
　2013年度から2014年度にかけて、2期連続で過去最高の売上高・営業利益を更新し、AIM2018の達成に向けて好調な滑り出しを迎えることができました。しかしながら、2015年度（第88期）においては、中国をはじめとするアジア新興国の経済減速が顕著となり、中国向け関連のコンデンサの減少や、産業分野でのパワエレ用コンデンサの需要低下によって、3期ぶりの減収減益となりました。

　今回の結果をひとつの教訓として、景気や市場がどのように変化しようとも対応できるような、より柔軟かつ堅牢な組織体制を築いていかなければならないと感じております。営業や開発、製造など、一人ひとりの担当者が、お客様に対してより細やかな提案と対応を行い、景気の大きなうねりに左右されない「多顧客限量生産」を推進していきたいと考えております。

　「多顧客化」への大きな一歩として、第88期は、グローバル産業機器や自動車機器などの分野で海外メーカーからの新規受注獲得も生まれています。また、電力機器システムにおいては、小型瞬低補償装置の開発によりバリエーションを拡充したことで、新たな引き合いが増加しました。より広い地域、より多彩な分野へ向けて、シヅキらしいものづくりで貢献を果たし、世界のなかで存在感を強めていく所存です。

代表執行役社長　伊藤　薫

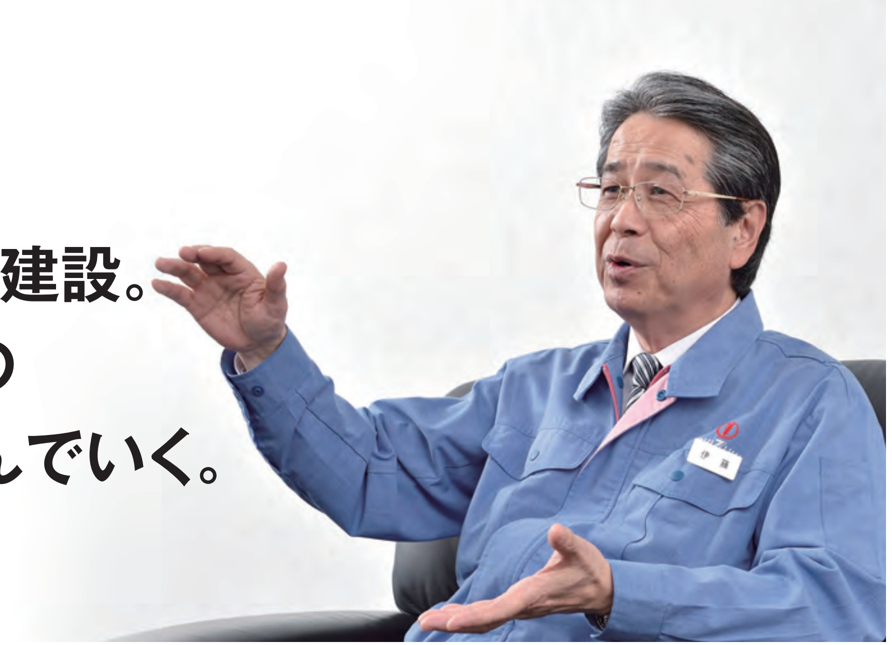
中長期経営計画 AIM2018 売上高実績と計画



Message

メッセージ

岡山指月に、新工場を建設。自動車用コンデンサのグローバル市場に挑んでいく。



需要が高まる、自動車用コンデンサ。海外メーカーからの受注を獲得。

AIM2018の重点事業のひとつである「自動車機器(HEV·INV)」。今、欧州の排ガス規制強化などを受けて、電気自動車やハイブリッド自動車の開発が加速しています。アジアをはじめとする新興国でも、環境問題の顕在化と深刻化が進み、エコカーのニーズが急速に高まっています。

このように自動車を取りまく市場が活発な動きを見せるなか、シヅキは国内だけでなく海外メーカーからの受注獲得をめざし、販売ネットワークを拡充させています。第88期は、こうした取り組みが実り、海外の自動車電装品メーカーからインバータ平滑用コンデンサの受注を獲得しました。さらに、韓国の大手メーカーに向けたEV用コンデンサの受注も獲得。より大きな市場のなかで「多顧客化」を進め、事業の成長と経営の安定化を両立させようとしています。

そして今、生産力のさらなる増強をはかるために、岡山指月に延床面積約5,000㎡の「新工場(第3工場)」を建設。2017年6月の竣工をめざしています。

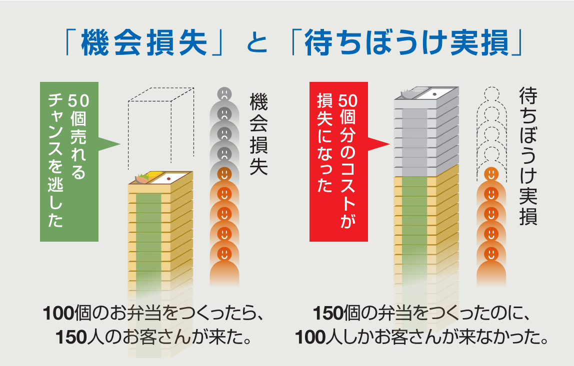
ますます需要増加が予測される次世代自動車向けコンデンサ

「機会損失」と「待ちぼうけ実損」。チャンスもリスクも見つめ、投資を考える。

新工場への投資にあたり、私は「機会損失」と「待ちぼうけ実損」という2つの言葉を軸にして、考えを巡らせました。例えば、毎日100個のお弁当をつくって、それを売り切っているお弁当屋さんがあるとします。ある春の日、いつものように100個の弁当を売り終えたお弁当屋さんのもとに、50人ものお客さんが次々とやってきました。その日は桜が見頃で、近所の河原でお花見があったのです。もしお弁当屋さんがそれを知っていれば、150個のお弁当をつくって売上を伸ばすことができたわけです。この売り損ねた50個のことを「機会損失」といいます。しかし、このお弁当屋さんは、50個のお弁当を売るチャンスを逃して悔しい思いはしたものの、実際には1円の損もしていません。

秋がきて、今度は近くで紅葉狩りがあるという情報を聞きつけたお弁当屋さん。今度こそ失敗しないようにと150個のお弁当を用意してお客さんを待っていました。ところが、天気が崩れ、あいにくの雨に。結局お弁当はいつもと同じ100個だけ売れて、追加した50個は丸々売れ残ってしまいました。50個分の材料費や箱代、光熱費などが損になってしまったのです。これを「待ちぼうけ実損」といいます。

これまでと同じ100個の商売をしていれば「機会損失」の可能性はあるものの、「待ちぼうけ実損」は防げる。しかし、実損を恐れて何もしなければ、今より事業を広げることはできない。このように、新しく投資を行うときは、目の前にあるチャンスとリスクの両方を考えることが大切だという教訓を与えてくれる話です。



生産能力の増強と、リスクへの備えを、同時に実現できる新工場へ。

さっきのお弁当屋さんには、後日談があります。次の春、お花見の日がやってくると、彼らは150個のお弁当をつくりました。ただし、おかずを生ものから揚げものに変えて、売れ残っても夜のお弁当や翌日に使いまわせるようにしたのです。このアイデアにより、お弁当屋さんは「機会損失」と「待ちぼうけ実損」のどちらも克服し、商売を広げていけるようになりました。

私たちが建設を進めている岡山指月の新工場も、同じような考え方で設備投資を進めています。目の前にある自動車向けコンデンサの受注増加というチャンス。これに万全の体制で備える一方で、受注が予想を下回った場合のリスクも想定して、自動車向け専用ラインをつくり込むのではなく、汎用性の高い設備を構築しようとしています。使い回しのきくおかずを用意しておくのと同じ発想です。

岡山指月の新工場をひとつの象徴として、シヅキはこれからグローバル市場への供給力を強めていきます。さらに、工場だけでなく組織全体として、あらゆるチャンスとリスクに柔軟に対応できる体制をつくりあげ、より大きな市場に挑んでいくことが、私の仕事だと考えています。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

チャンスにもリスクにも対応!岡山指月新工場

「機会損失」には	「待ちぼうけ実損」には
対応 5,000㎡の新工場で **生産力を増強**	対応 汎用性の高い設備で **操業リスクを回避**

シヅキのツヅキ

シヅキから旅立ち、
社会を支える商品たち

vol.6

大切な電気を、ムダなく、安定して、使いやすく。
電力の一大ネットワークを支えるシヅキの商品!

電力ネットワーク

電気をつくる「発電」、電気を送る「送電」、用途に合わせて電圧を昇降したり、周波数を調整したりする「変電」、そして、工場やオフィス、住まいへと電気を届ける「配電」。電気がつくられてから、ムダなく快適に使われるところまで、シヅキの商品が大きな役割を果たしています。

発電所

発電所では27.5万～50万Vの電力をつくります。そのままの電圧では使えないため、各変電所で降圧されます。

超高圧変電所

超高圧変電所では、15.4万Vに変電されます。送電中のロスを抑えるためにできるだけ高い電圧の状態で送り出されます。

一次変電所

発電所からの高圧の電力を2.2万～6.6万Vに降圧。大きな電力を使う工場には、ここから特別高圧電線で電力が送られます。

配電用変電所

一次変電所で降圧された電力を6.6千Vにまで下げて、大規模なビルや中規模工場、街の電線などへ配電します。

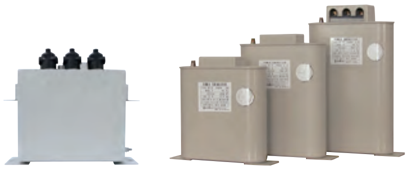
柱上変圧器

電柱に備え付けられた変圧器。6.6千Vの電力を一般の家庭やお店で使える100～200Vに降圧します。

住宅・商店・小規模工場

海外の電力ネットワークも支える商品ラインナップ

自然エネルギー発電の導入を進めているアメリカや中国では、送電線の増強などによる電力ネットワーク強化の動きが加速しています。また、東南アジアでは、インバータ機器の増加により、高調波対策や瞬低対策などのニーズが高まっています。シヅキの商品は、品質と信頼の高さを活かし、海外にも活躍のステージを広げています。



低圧進相コンデンサ

ビル・病院

高調波や高周波から機器を守る!

電気機器から出る高調波や高周波は、さまざまな機器の誤作動や発熱、雑音を引き起こすことがあります。こうした障害の予防・改善にも、シヅキのコンデンサやフィルタ装置が一役買っています。

アクティブフィルタ

低圧進相コンデンサ設備

中規模工場

多彩なラインナップで、ものづくりをサポート!

工場の変電・受電設備で、電力の効率改善をサポート。また、高調波対策や瞬低(瞬時電圧低下)による設備への影響を防ぎ、生産ラインの安定稼働を支え、高精細なものづくりを支えています。

高圧・低圧進相コンデンサ設備

瞬低補償装置 SAG-Backup

大規模工場

電圧を安定させて、設備の障害を防ぐ!

大規模工場には、大型の溶接機など一度にたくさんの電力を使う設備があります。電気が急激に流れると「電圧変動」が起こり、照明のちらつきなどの原因に。こうした障害を防ぐ役割を担っています。

瞬時無効電力補償装置 (SVC/SVG)

鉄道変電所

たくさんの列車の運行も、省エネもサポート!

電圧の降下を抑えて、変電所の電源を最適に保つことで、列車の安定した運行や増便への対応を可能にしています。さらに、電力の効率を改善して省エネとコスト削減にも貢献しています。

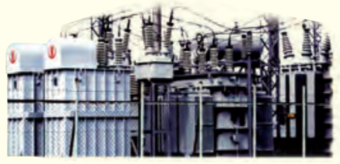
変電所用直列コンデンサ

変電所用並列コンデンサ

変電所

"無効電力"を補償して、電力を効率よく使う!

無効な電力が生じてしまいます。コンデンサによってそれを補償し、電力の有効活用を実現しています。



変電所用並列コンデンサ

上海指月 創立10周年“攻めの営業”で大きく伸張

PROMOTION

中国の展示会への出展

中国上海市の販売子会社「指月獅子起(上海)貿易有限公司」(上海指月)が、2016年5月、創立10周年を迎えました。上海指月は、中国市場に「指月ブランド」をさらに普及・浸透させていくことを目指して、展示会への出展など、積極的なPR活動を続けてきました。売上高は創立当初の2倍を超え、3倍に届きそうなところまで伸張しております。取扱商品も、産業用コンデンサや電力用、家電用、新エネルギー用からはじまり、現在は電鉄車両用、自動車用、冷蔵機器用まで多岐にわたっています。これからも日本で培った実績を活かし、攻めの営業活動を実践してまいります。

コンプライアンス憲章を改訂

CSR

シヅキでは、2002年に「指月グループコンプライアンス憲章を制定して法令遵守の徹底をはかるとともに、従業員がきちんと整備されたルールのもとで業務に取り組めるように、海外子会社を含めたグループ全体で教育を行ってきました。2015年12月、憲章の改訂を実施。
グループ全体のコンプライアンス強化をはかってまいります。

卒業生の手紙 3

キラリと光るセンスで、グッドデザイン賞も

低圧進相コンデンサN1形

わたしたちN1形が卒業したのは1988年。その年のグッドデザイン賞も受賞して、華々しいデビューを飾ることができたの。
わたしたちの仲間は、コンビニやスーパーの冷蔵・冷凍ケースや業務エアコンの中で、「力率改善」といって電気を効率よく使えるように仕事をしているわ。
今では、後輩のN2形たちが活躍中。彼らのことも応援してあげてね。

低圧進相コンデンサN1形

岡山指月株式会社に新工場(第3工場)建設

自動車用コンデンサの生産増強へ向けて

次世代エコカーの需要拡大に応え、普及を支えていく

日本国内では自動車の販売・生産が縮小傾向にあるものの、グローバル市場に目を向けると、自動車販売額は年々増加し、2020年代前半には販売台数が1億台を超えると見込まれています。一方で、環境への取り組みがさらに重要性を増し、自動車を取りまく規制が世界的に強まっています。こうした背景を受けて、EV(電気自動車)やHEV(ハイブリッド自動車)、PHEV(プラグイン・ハイブリッド自動車)などの次世代エコカーの需要が、今後ますます高まっていくと考えられます。

イメージ図

シヅキでは、自動車用コンデンサの生産増強と高信頼・高品質化への対応を目指して岡山指月株式会社に新工場を増設。2017年6月から順次稼働させ、エコカーの普及をバックアップしてまいります。

次世代エコカーを支える、シヅキの自動車用コンデンサ

インバータ用(駆動モータの制御)

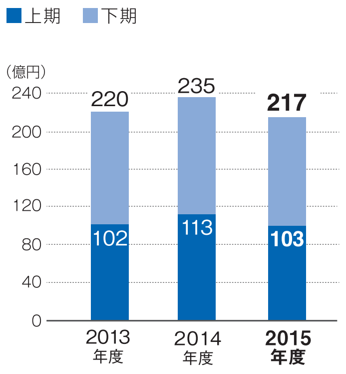
エンジンではなく駆動モータによって動く電気自動車。モータの制御にはインバータが使われ、そのインバータを安定して作動させるためには、電気を滑らかにするコンデンサの存在が不可欠になります。

コンバータ用(電装品の電源用)

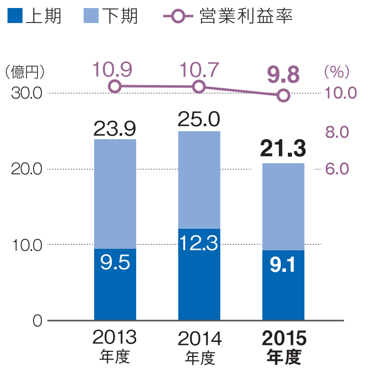
車載エアコンをはじめとする電装品の電源にも、シヅキのコンデンサが使われています。国内だけでなく海外の電装品メーカーから受注を獲得し、国内外の自動車に搭載される商品を供給しています。

財務ハイライト

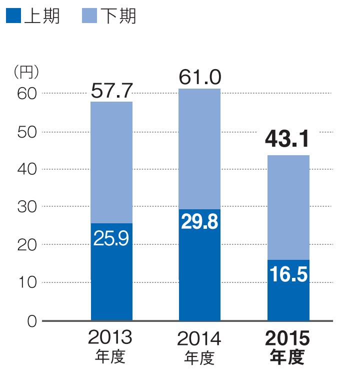
売 上 高



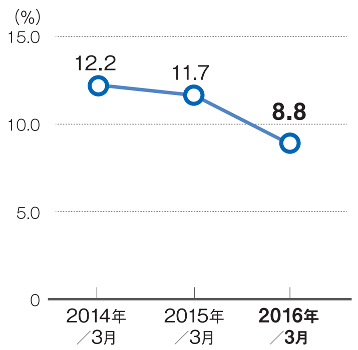
営業利益・営業利益率



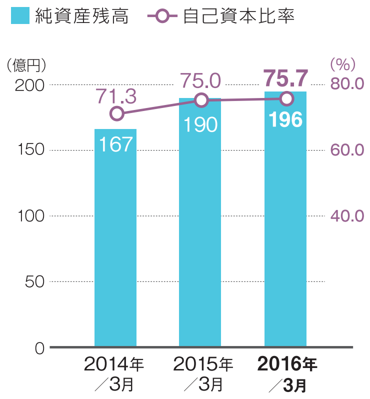
1株当たり利益（EPS）



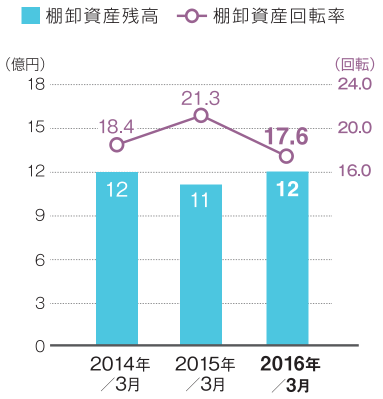
総資産経常利益率（ROA）



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point 業績面では一過性の要因もあり、前年度比で3年振りの減収・減益となりましたが、1株当たり利益は当初の見込みを上回る**43.1円／1株**となりました。

連結財務諸表

（注）十万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第87期 期末 2015年3月31日現在	第88期 期末 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,189	**13,423**
現金及び預金	5,651	**6,378**
受取手形、売掛金及び電子記録債権	5,133	**5,445**
棚卸資産	1,103	**1,232**
その他資産	302	**367**
有形固定資産	10,832	**10,386**
無形固定資産	31	**34**
投資その他の資産	1,997	**1,747**
資産合計	25,051	**25,592**
負債の部		
流動負債	3,920	**3,797**
固定負債	2,141	**2,221**
負債合計	6,061	**6,018**
純資産の部		
株主資本	17,295	**18,223**
資本金	5,001	**5,001**
資本剰余金	3,308	**3,308**
利益剰余金	10,224	**11,159**
自己株式	△1,238	**△1,245**
その他の包括利益累計額	1,487	**1,139**
非支配株主持分	207	**211**
純資産合計	18,990	**19,574**
負債純資産合計	25,051	**25,592**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第87期 期末 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	第88期 期末 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	23,461	**21,728**
売上原価	16,183	**15,137**
売上総利益	7,278	**6,591**
販売費及び一般管理費	4,775	**4,465**
営業利益	2,502	**2,125**
営業外収益	411	**331**
営業外費用	99	**217**
経常利益	2,814	**2,239**
特別損失	−	**326**
税金等調整前当期純利益	2,814	**1,913**
法人税、住民税及び事業税	941	**635**
法人税等調整額	46	**△23**
当期純利益	1,826	**1,301**
非支配株主に帰属する当期純利益	50	**46**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,775	**1,254**

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第87期 期末 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	第88期 期末 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,867	**1,200**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,234	**△52**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343	**△343**
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	**△76**
現金及び現金同等物の増減額	1,357	**727**
現金及び現金同等物の期首残高	4,293	**5,651**
現金及び現金同等物の期末残高	5,651	**6,378**

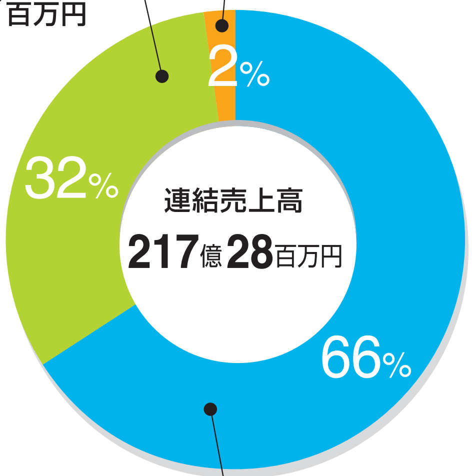
Segment Information

セグメント情報

■ 部門別売上高比率 (2016年3月)

情報機器システム部門
売上高
3億78百万円

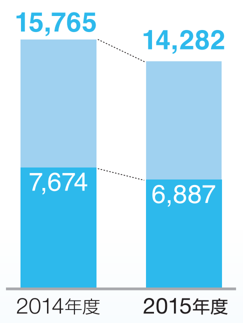
電力機器システム部門
売上高
70億67百万円



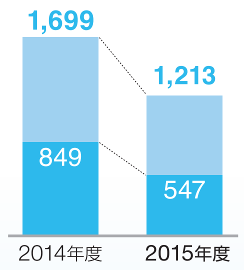
コンデンサ・モジュール部門
売上高
142億82百万円

売上高構成比率 66% コンデンサ・モジュール部門

売上高
14,282百万円
前年同期比 △9.4%

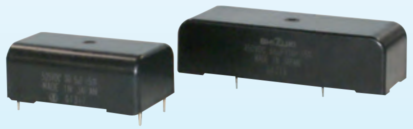


営業利益
1,213百万円
前年同期比 △28.6%



■上期 ■下期 [単位:百万円]

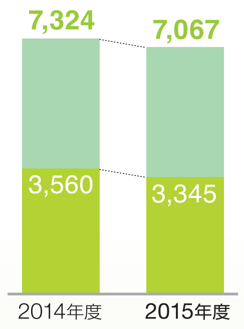
第2四半期に引き続き、中国高速鉄道向けと、EV･HEV用のコンデンサが前年度比で減少しました。一方で、太陽光発電パワーコンディショナー用は前年度比約1.7倍の売上増加となりました。新規引き合いは国内外ともに着実に増えており、この機会を逃さず、さらなる開発の強化と最適な商品のご提案を行い、新規受注の獲得に取り組んでまいります。



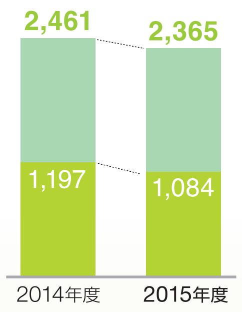
太陽光発電パワーコンディショナー用コンデンサ

売上高構成比率 32% 電力機器システム部門

売上高
7,067百万円
前年同期比 △3.5%



営業利益
2,365百万円
前年同期比 △3.9%



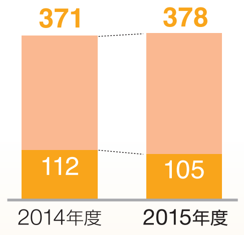
■上期 ■下期 [単位:百万円]

瞬低補償装置について、小型商品のラインナップ強化と販売促進により新規顧客を獲得し、前年度比で伸長しました。電力品質改善機器については、案件の減少で上期は苦戦しましたが、首都圏を主に大口案件を受注し、下期の売上げは前年同期比を上回りました。今後も、受注獲得とシェアの拡大で、一層の売上増加を目指します。

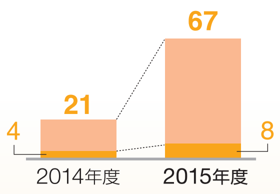
瞬低補償装置
SAG-Backupラックタイプ

売上高構成比率 2% 情報機器システム部門

売上高
378百万円
前年同期比 +1.9 %



営業利益
67百万円
前年同期比 +217.6%



■上期 ■下期 [単位:百万円]

主力商品であるバス車載用運賃表示装置と、バスロケーションシステム用表示装置が堅調に売上げを伸ばしました。特に、バスロケーションシステムは、GPSなどを利用して位置情報を収集し定時運行の調整などに役立てるシステムで、今後需要は拡大すると予測しております。引き続き、商品開発とラインナップ拡充を進め、販売強化に努めてまいります。

バスロケーションシステム用
表示装置

※セグメント別の営業利益については、調整額△1,520百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

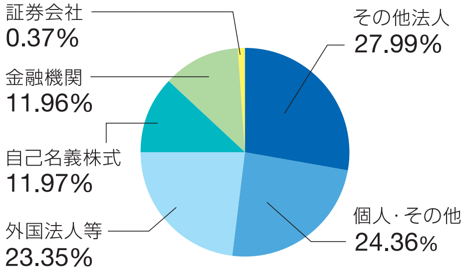
Stock Information

株式の状況　2016年 3月31日現在

■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
株 主 数	3,368名

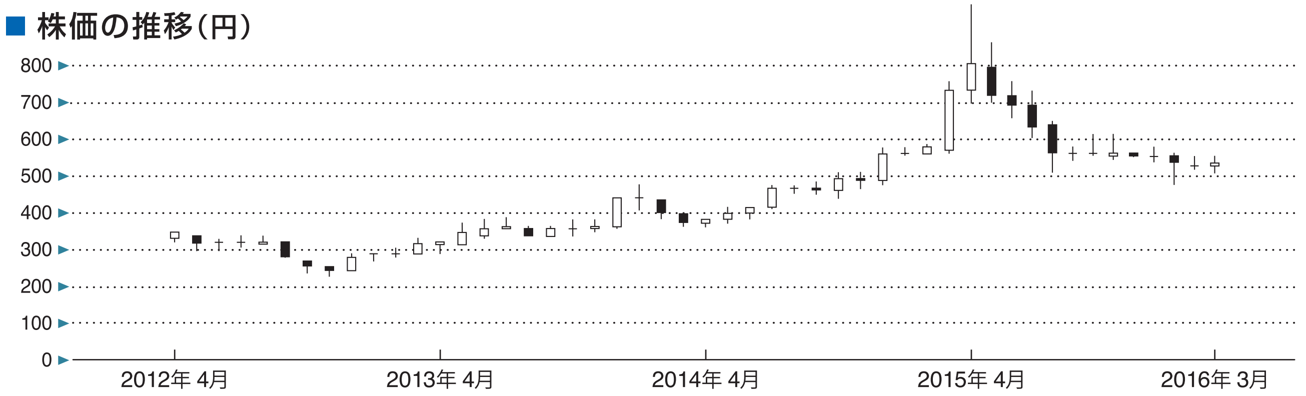
■ 所有者別株式数分布状況



■ 大株主（上位10名）

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.11
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,341	13.13
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,522	4.60
株式会社りそな銀行	1,299	3.92
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	930	2.81
株式会社みなと銀行	925	2.79
指月協友持株会	812	2.45
株式会社村田製作所	571	1.72
株式会社ノーリツ	560	1.69
指月電機製作所自社株投資会	523	1.58

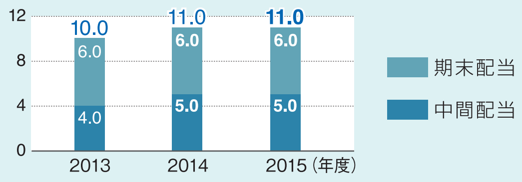
■ 株価の推移(円)



期末配当金 1株当たり 6円

1.期末配当金　1株当たり6円
2.支払対象者　平成28年3月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3.支払開始日　平成28年 6月10日

■1株当たりの配当実績（単位:円）



Corporate Profile

会 社 概 要　2016年 3月31日現在

会社概要

商 号	株式会社指月電機製作所
英 文 名 称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本 店 所 在 地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創 業 年 月 日	1939年 3月10日
設 立 年 月 日	1947年 9月 1日
資 本 金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,295名
主要取扱業務	■コンデンサ及び関連機器・装置 ■電力機器・装置 ■情報機器・装置 の製造販売
営 業 拠 点	●東京支社 ●東京支店／関西支店／中部支店 ●仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

役 員

取締役

取締役会会長	伊 藤 　 薫＊
取 締 役	友 松 　哲 也＊
取 締 役	山 本 　則 彦
取 締 役	増 田 　幹 登※
取 締 役	鳥 川 　光 春※
取 締 役	森 　公 利※

＊は執行役を兼任　※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊 藤 　 薫
専 務 執 行 役	足 達 　信 章
常 務 執 行 役	谷 口 　義 裕
常 務 執 行 役	友 松 　哲 也
執 行 役	矢 部 　久 博
執 行 役	小 田 　 敦
執 行 役	藤 原 　健 吾

生産子会社

社 名	資 本 金	出資比率(%)
九州指月株式会社（福岡県）	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社（秋田県）	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社（岡山県）	300,000千円	100.0

販売・生産子会社

社 名	資 本 金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社（米国 ネブラスカ州）	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社（タイ バンコク）	33,000千バーツ	70.0